

# CASBEE新潟 | 評価結果 |




- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

## 1. 建物概要

建物名称	アルファレジデンス新潟駅 新築工事	
建設地	新潟県新潟市中央区花園1丁目79-1,79-2,80,81	
用途地域	商業地域、準防火地域	
建物用途	集合住宅	
竣工年	2021年6月 竣工	
敷地面積	1,231.84 m <sup>2</sup>	
建築面積	427.58 m <sup>2</sup>	
延床面積	5,051.08 m <sup>2</sup>	
階数	地上15F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2019年7月24日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質 } 43.7}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性 } 37.2} = 1.1$
S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q 2.1.3	3.0
			維持管理	Q 2.1.3	3.5
			設備の更新性	Q 2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.9		耐震・免震・制震・制振	Q 2.2.1	3.0
			信頼性	Q 2.2.4	2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR 3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR 1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR 1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	LR 2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR 2.2.4	3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR 2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	Q 3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q 3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q 3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q 3.3.1	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

清掃用資材の洗い場やゴミ庫を確保して、建物の維持管理がしやすいように努めている。節湯型の衛生機器を使用しており、水資源の保護を図っている。床材にリサイクル資材を使用しており、環境負荷の低減を図っている。緑地や中高木を多く設けることにより、良好な景観になるよう努めている。

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アルファレジデンス新潟駅 新築工事	階数	地上15F
建設地	新潟県新潟市中央区花園1丁目70-1,79-2,80,81	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	192 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 竣工	評価の実施日	2019年7月24日
敷地面積	1,232 m <sup>2</sup>	作成者	長濱 義孝
建築面積	428 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月24日
延床面積	5,051 m <sup>2</sup>	確認者	長濱 義孝



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

標準計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	
総合	環境負荷の低減に配慮しながら、利用者が快適に過ごせるようなデザイン・緑化計画を行っている。
その他	特になし
Q1 室内環境	外部に対して開口部を大きく取り、また南側に窓を設け、十分な採光を確保できるよう努めている。また、ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用しており、化学汚染物質に配慮している。
Q2 サービス性能	更新必要間隔の長い内装仕上げ材を使用し、建物の長寿命化を図っている。また、共用部にSKやゴミ収集車スペースを確保しており、維持管理に配慮した設計となっている。
Q3 室外環境(敷地内)	緑地や中高木を多く設けることにより、良好な景観になるよう努めている。また、ルーバーフェンスやネットフェンスを設置して、危険を感じることはないよう防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	高い断熱性能により、環境負荷の軽減に努めている。また、照明はLEDライトを使用し、設備システムの高効率化を図っている。
LR2 資源・マテリアル	節湯型機器を使用しており、水資源の保護を図っている。また、躯体から仕上げ材の分別を容易化して、解体時の資源再利用に配慮している。
LR3 敷地外環境	駐輪場や駐車場、ゴミ収集車のスペースを確保しており、建物の運用時に交通負荷が発生しないよう取組みを行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される